

環境厚生常任委員長報告

(H 2 6 . 1 0 . 3)

環境厚生常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要と結果を報告いたします。

まず、第 1 号議案、平成 2 6 年度亀岡市一般会計補正予算の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、総務費では、「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム（仮称）に係る環境保全専門家会議」から、アユモドキ等への影響評価のため、より綿密な調査が必要との意見により、サンクチュアリ整備に向けた再生整備実験及び動植物調査にかかる業務委託料の増額補正であります。民生費では、生活困窮者の自立援助を推進するため、自立支援業務などを充実する経費の増額補正等であります。衛生費では、予防接種法施行令の一部改正により、

10月1日から定期予防接種に「水痘」及び「高齢者の肺炎球菌感染症」が追加されることに伴う、予防接種を実施する経費の増額補正であります。また、プラスチック製容器包装のリサイクル処理に係る債務負担行為の設定等であります。

採決に先立ち、アユモドキが棲み続ける環境保全事業経費については、スタジアム整備に関連する調査として、京都府が責任を持って行うべきとの反対討論が、また、賛成討論として、アユモドキの保全是亀岡市が責任を持って行うこととしており、やむを得ないとの意見がありました。

採決の結果は、多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第2号議案、平成26年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算については、過年度国庫支出金等の精算による返納金に係るものです。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって可決すべきものと決定しました。

次に、第3号議案から第6号議案までの4議案は、幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、地域における子ども・子育て支援の充実に目的とした「子ども・子育て関連3法」の施行に伴い、条例委任された事項について、基準を定める条例を制定する議案及び関連する条例を一部改正、廃止する議案です。

第3号議案、亀岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定については、子ども・子育て支援法の規定に基づき、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるものであり、第4号議案、亀岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定については、子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等

の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律における児童福祉法の一部改正に伴い、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めるものであります。

採決に先立ち、居宅訪問型保育事業は、全国でも色々な問題が起きており、今後、内規で定めるのではなく条例で定めるべきとの反対討論がありました。

賛成討論ののちに、採決の結果は、2 議案とも多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

また、第 5 号議案の亀岡市立保育所条例の一部改正については、保育所の入所要件が変更されることに伴い、所要の規定整備を図るものであり、第 6 号議案、亀岡市保育の実施に関する条例廃止については、保育の実施基準の条例委任が削除されたことに伴い、条例を廃止する

ものです。

別段異論なく、採決の結果は、2 議案とも全員をもって可決すべきものと決定しました。

次に、第 7 号議案の亀岡市福祉事務所設置条例及び亀岡市福祉医療費支給条例の一部改正については、母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴い、所要の規定整備を図るものです。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって可決すべきものと決定しました。

次に、第 8 号議案の亀岡市病院事業の設置等に関する条例の一部改正については、地方公営企業法施行規則の一部改正に伴い、病院事業に係る資本剰余金の処分方法について、固定資産のみなし償却制度に係る規定を廃止すること、また、効果的な事業の運営を図るため、利益処分について積立金への積立方法を見直し、積立割合を改正するこ

と等を行うものです。

賛成討論ののちに、採決の結果は、全員をもって可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告とします。

アユモドキが棲み続ける環境保全事業経費を増額

京都府と共同で設置している「亀岡市都市計画公園および京都スタジアム（仮称）」に係る環境保全専門家会議から都市計画公園とスタジアム整備によるアユモドキなどへの影響評価のため、より綿密な調査が必要との意見がありました。そのためサンクチュアリへの整備に向けた再生整備実験および動植物調査にかかる業務委託料2700万円を増額するもの。

主な質疑

（問・議員、答・担当部長）

問 2700万円の調査内容は。

答 アユモドキの冬期における生息環境などの環境調査および共生ゾーン整備のため本年度に実施した3ヶ所の実証実験地を更に改良する整備費用。

問 2700万円全てが市の単費であるが、国や府の補助はないのか。

答 国や府に要望中である。

問 今後経費が増加する可能性は。

答 まだ結論は出ていないが、平成25、26年度で十分調査を行うことにしており、この2年間で一番調査経費を要する年度である。引き続き保護増殖に努めていくため、通常かかる経費は今後も必要である。

10月1日から水痘と高齢者肺炎球菌が定期予防接種に追加

予防接種法施行令の改正により、10月1日から定期予防接種に水痘（水ぼうそう）と高齢者の肺炎球菌感染症が追加されることに伴い、予防接種を実施する経費5320万円を増額するもの。